アドレスＶ１２５用　オイルクーラーキット　取扱説明書

商品番号	：０７－０７－０１５０
適応車種	：ＳＵＺＵＫＩ　アドレスＶ１２５
フレーム番号	：ＣＦ４６Ａ－１００００００ ～
	：ＣＦ４ＥＡ－１００００００ ～

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特　徴～

○アドレスＶ１２５は、そのエンジン構造上オイルクーラーを取り付ける事が困難ですが、専用アダプターとオイルフィルターを用いる事で、オイルフィルターを無くさずにオイルクーラーの装着を可能としました。
○フロア裏面のスペースにオイルクーラーを取り付けますので、必要以上に目立たないように取り付ける事が出来ます。
○アンダーカバーに開ける導風穴も、ステンレス製エッチング加工のインテークプレートにより高品位に処理することが出来ます。
○オイル取り出しアダプターには、別売りの弊社製Ｍ５温度センサー及びサーモユニットの取り付けが可能になっており、エンジン温度管理が出来るようになります。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎取り付け作業時に、エンジンオイルを追加する必要がありますので、作業前に同銘柄のエンジンオイルをご用意頂いた上で作業を行って下さい。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

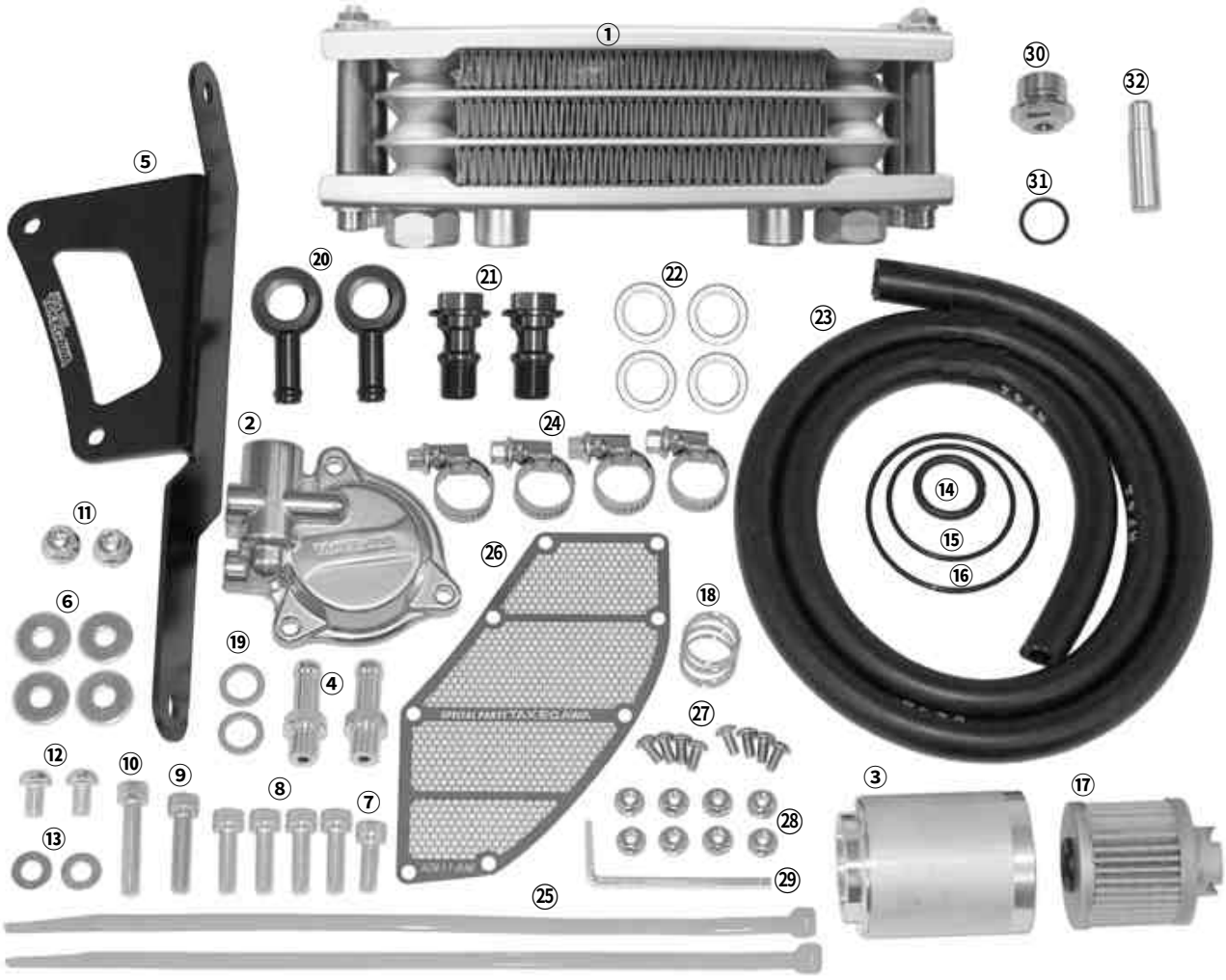
・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

⚠警告　この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

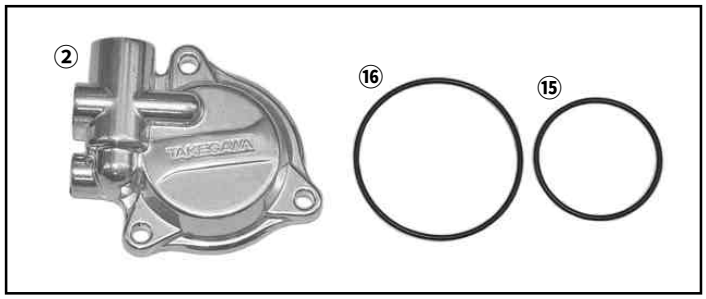
・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対しては、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～

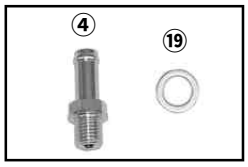


００－０７－００６２

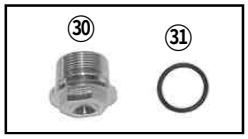


００－０７－００６４

００－０７－００４８



００－０７－００６３



番号	部　品　名	数量	リペア品番	入数
１	オイルクーラーＣｏｍｐ．（３－Ｆｉｎ／ＡＬ）	１	１５０００－ＫＹＪ－Ｔ１０	１
２	オイルフィルターアダプター（ダイカスト製）	１	００－０７－００６２	１
３	パーティーションＣｏｍｐ．	１	００－０７－００６４	１
４	ストレートユニオン　Ｍ１０	２	００－０７－００４８	１
５	オイルクーラーステー	１	１５６６０－３３Ｇ－Ｔ０１	１
６	プレーンワッシャ　（６．５ Ｘ １８ Ｘ ２．０）	４	００－００－００８８	６
７	ソケットキャップスクリュー　６ Ｘ １６	１	００－００－００８３	４
８	ソケットキャップスクリュー　６ Ｘ ２０	４	００－００－００４３	１０
９	ソケットキャップスクリュー　６ Ｘ ２５	１	００－００－００８９	１０
１０	ソケットキャップスクリュー　６ Ｘ ３０	１	００－００－００９０	５
１１	フランジＵナット　６ｍｍ	２	００－００－００９１	６
１２	ボタンヘッドソケットスクリュー　６ Ｘ １０	２	００－００－００９２	５
１３	プレーンワッシャ　６ｍｍ	２	００－００－００８６	１０
１４	Ｏリング　１８ｍｍ	１	００－００－００９３	２
１５	Ｏリング　４０ｍｍ	１	００－００－００９４	２
１６	Ｏリング　５５ｍｍ	１	００－００－００９５	２

番号	部　品　名	数量	リペア品番	入数
１７	オイルフィルター	１	００－０２－００２７	１
１８	オイルフィルタースプリング	１	００－０７－００６５	１
１９	アルミシーリングワッシャ　１０ｍｍ	２	００－０７－００１０	１０
２０	ユニオン　１４ｍｍ	２	１５６２０－０００－Ｔ２０	１
２１	バンジョーボルト　Ｍ１２ Ｘ １．０	２	００－０７－００３４	１
２２	アルミシーリングワッシャ　１４ｍｍ	４	００－０７－００４２	５
２３	オイルホース　１０００ｍｍ	１	００－０７－００１８	１
２４	ホースバンド	４	００－００－００５２	２
２５	タイラップ　２５０ｍｍ	２	００－００－００９６	４
２６	インテークプレート	１	５０６１１－３３Ｇ－Ｔ００	１
２７	ボタンヘッドソケットスクリュー　４ Ｘ ８	８	００－００－００９７	６
２８	フランジナット　Ｍ４	８	００－００－００９８	１０
２９	Ｌレンチ　２．５ｍｍ	１	――――――	＼
３０	サーモスタットホールキャップ	１	００－０７－００６３	１
３１	Ｏリング　１５ｍｍ	１	００－００－０１８６	４
３２	オイルホールプラグ	１	００－０２－０１１１	１

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～取　り　付　け　要　領～

●作業を始める前に

1．本キット取り付けにはオイルフィルター部の分解・脱着作業が必要となりますが、作業開始前にオイルフィルター部周辺を洗浄し、砂や汚れをしっかりと落としてから分解作業を行って下さい。

⚠ 注意：オイルラインに砂や汚れが混入するとエンジントラブルの原因となります。

2．オイルフィルターアダプターの取付け作業に伴い、エンジンオイルがこぼれる場合があります。
オイル受けや、ウエス等を準備し、作業スペースを養生した上で作業を行って下さい。

3．水平で安全な場所でセンタースタンドをかけ、車両を安定させます。
不意に車両が前方へ動き、スタンドが外れたりしない様に、フロントブレーキレバーをタイラップやゴムバンドを用いて、しっかりと握った状態にしておくと、より安全です。

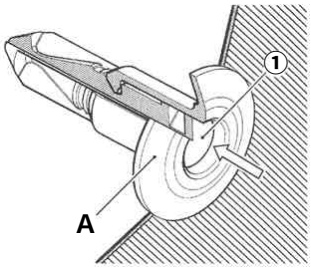
●部品の取り外し

・アドレスＶ１２５の外装に使用されているクリップの取り外し・取り付け方法

取り外し

1．クリップのセンターピース①の頭部を押し下げる。

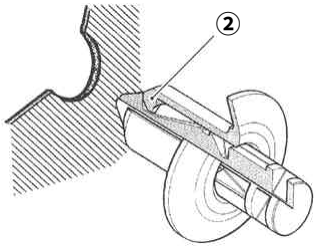
2．クリップＡを引き抜く。



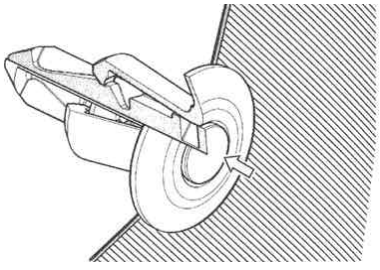
取り付け

1．センターピースの頭部を突き出させ、爪②が閉じるようにする。

2．クリップを取り付け穴に挿入する。
※爪②の損傷を防ぐ為、クリップは取り付け穴の一番奥まで挿入する。



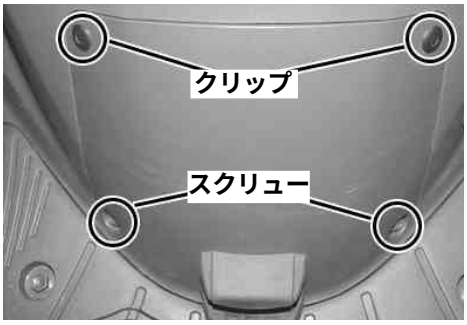
3．センターピースの頭部がクリップの外周と同じ高さになるまで押し込む。



・メンテナンスリッドＮｏ.２（シート前方下部）の取り外し

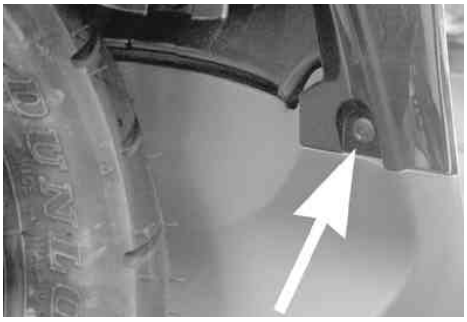
1．スクリューおよびクリップを外します。

2．メンテナンスリッドＮｏ.２を外します。



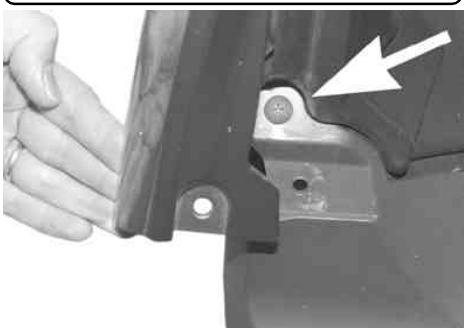
・ロアレッグシールドの取り外し

1．フロントレッグシールド下端を固定しているクリップを左右共に外します。

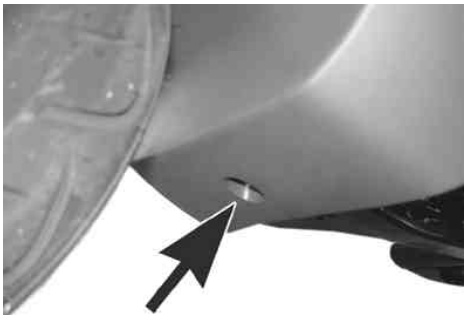


2．フロントレッグシールド下端を外側に広げると、ロアレッグシールドを固定しているスクリューが奥にありますので、左右共に外します。

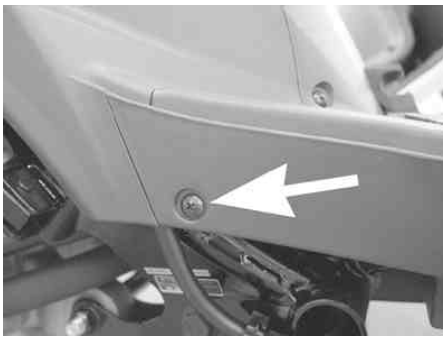
⚠ 注意：フロントレッグシールド下端を必要以上に外側に広げすぎると、カウルが破損する恐れがあります。



3．ロアレッグシールド底面中央に有るクリップを外します。



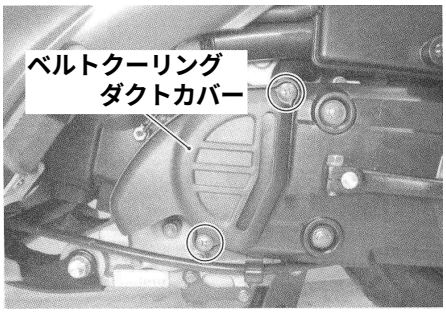
4．フロア後端の左右側面にあるスクリューを左右共に外します。



5．フック位置に注意しながら、ロアレッグシールドを取り外します。

・クラッチアウタカバーの取り外し

1．タッピングビスを取り外し、ベルトクーリングダクトカバーを取り外します。

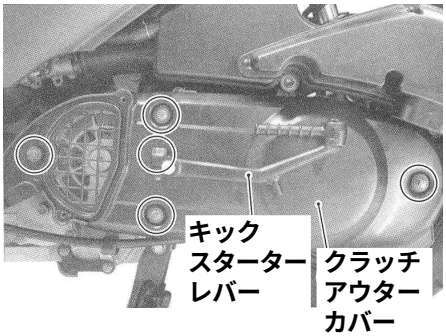


2．キックスターターレバーを取り外します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１３Ｎ・ｍ（１.３ｋｇｆ・ｍ）

クラッチアウターボルトを取り外し、クラッチアウターカバーを取り外します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：８Ｎ・ｍ（０.８ｋｇｆ・ｍ）



・オイルクーラーの取り付け

1．オイルクーラーを下図のように組み替えます。
㉑バンジョーボルトに、㉒アルミシーリングワッシャ１４mm・⑳ユニオン１４mm・㉒アルミシーリングワッシャ１４mmの順に通してから、①オイルクーラーＣｏｍｐ.に仮付けしておきます。

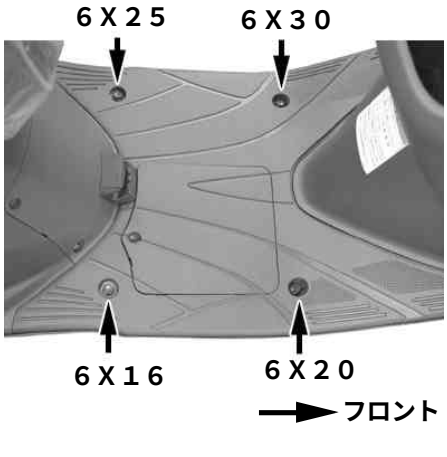
2．⑫ボタンヘッドソケットスクリュー６Ｘ１０に ⑬プレーンワッシャ６mmを通し、⑤オイルクーラーステーに①オイルクーラーＣｏｍｐ.を取り付け規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：９Ｎ・ｍ（０.９ｋｇｆ・ｍ）

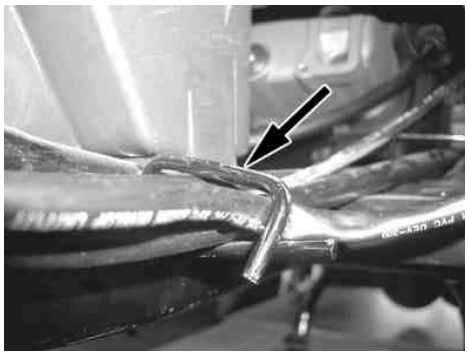
3．純正のリアレッグシールドを固定しているスクリュー４本を取り外します。

4．⑦ソケットキャップスクリュー６Ｘ１６
⑧ソケットキャップスクリュー６Ｘ２０
⑨ソケットキャップスクリュー６Ｘ２５
⑩ソケットキャップスクリュー６Ｘ３０
それぞれに⑥プレーンワッシャを通し、図を参考に長さを間違わない様に締め付けます。

⚠ 注意：正しい位置に正しいスクリュー長さを取り付けなければ、オイルクーラーステーが取り付け出来ません。



5．図の様にステーをペンチ等で曲げます。
（ステーが折れない様、曲げすぎには注意して下さい。）



6．先程組み立てたオイルクーラーとステーを、車体左側裏面から取り付け、先程取り付けた⑨ソケットキャップスクリュー６Ｘ２５、⑩ソケットキャップスクリュー６Ｘ３０の貫通したスクリュー先端と共締めになる様に⑪フランジＵナット６mmで仮止めします。

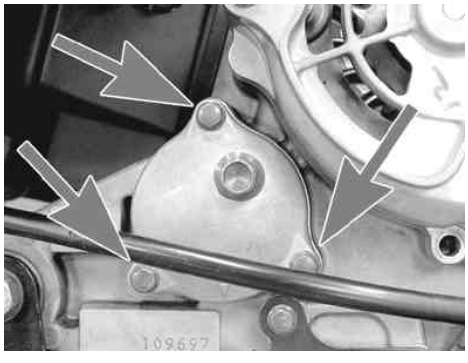
7．フレームや、サイドスタンド等（取付車の場合）と干渉の無いことを確認の上、フランジＵナットを規定トルクで締め付けます。
また締め付け時は、必ずレッグシールド側のソケットキャップスクリューが回らない様に工具で固定し、フランジＵナットを回して締め付ける様にして下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

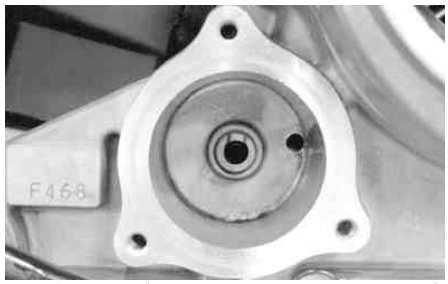
・オイルクーラーユニットの取り付け

1．②オイルフィルターアダプター側面には、別売りオプション品のＭ５サーモセンサーを取り付ける為の、Ｍ５メネジを設けてあります。
Ｍ５センサーを取り付ける場合は、オイルフィルターアダプターを車両に取り付ける前の方が作業を行いやすいので、別途お求め頂いたサーモメーターの取扱説明書をご確認の上、取り付け作業を行って下さい。

2．エンジン下にオイル受け等を準備した上で、純正オイルフィルターキャップとスプリングを取り外します。
この時取り外した純正のスクリュー３本は再使用しますので、紛失しないように保管しておいて下さい。

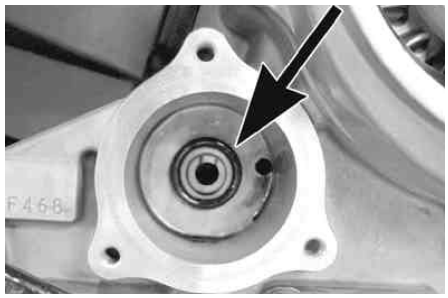


3．純正オイルフィルターと、Ｏリングを取り外し、オイルフィルターキャップ取り付け面を清掃します。



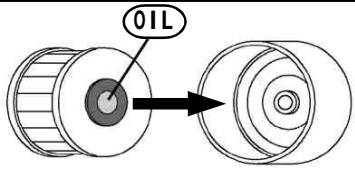
4．⑭Ｏリング１８mmにエンジンオイルを塗布し、クランクケース奥の突起部外周に取り付けます。

⚠ 注意：この時、純正のＯリングがクランクケース奥に残っていない事を必ず確認して下さい。

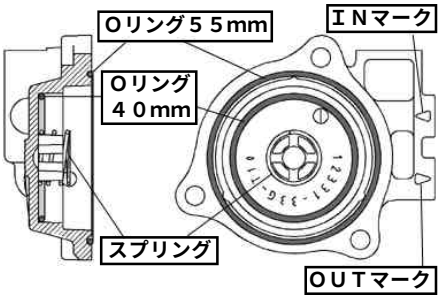


5．⑰オイルフィルターのラバーパッキン部にエンジンオイルを塗布し、ラバーパッキン側から③パーティーションＣｏｍｐ.に差し込みます。

⚠ 注意：パーティーションＣｏｍｐ.の片端は、差し込み部寸法を調整する為に外径切削加工をしていますが、パイプ寸法公差により外周が部分的に切削されていない物もあります。
部分的に切削されていない物であっても不良品ではありませんので、問題なくお使い頂けます。また、外周の仕上げによる性能差も有りません。

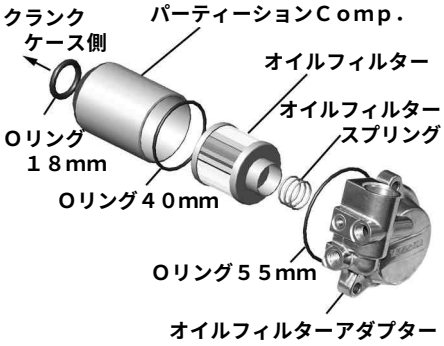


6．②オイルフィルターアダプターに、キット付属の⑱オイルフィルタースプリングを取り付け、⑮Ｏリング４０mmと、⑯Ｏリング５５mmに薄くグリスを塗布して取付けます。
Ｏリング５５mmは溝からはみ出しやすいので、はみ出さない様に確実に取付けて下さい。



Dec./12/ 12

7．下図の位置関係を参考にし、パーティーションComp.と、オイルフィルターアダプターをクランクケースに取り付け、キット付属の⑧ソケットキャップスクリュー６Ｘ２０　３本で仮止めします。
この時、Ｏリング及びオイルフィルタースプリングが脱落しないように注意し、パーティーションComp.がオイルフィルターアダプターに真っ直ぐ差し込まれるようにして下さい。

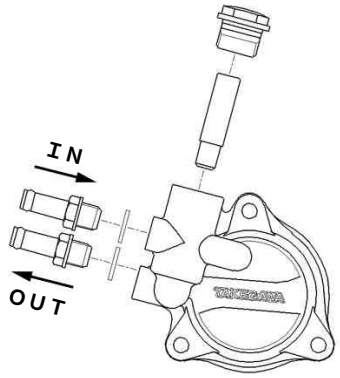


8．ソケットキャップスクリュー６Ｘ２０
３本を締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

9．キット付属の⑲アルミシーリングワッシャ１０mmに④ストレートユニオンＭ１０を通し、オイルフィルターアダプターに取付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１３Ｎ・ｍ（１.３ｋｇｆ・ｍ）



10．㉚サーモスタットホールキャップの溝部に㉛Ｏリング１５mmを取り付け、Ｏリング部に少量のエンジンオイルを塗布します。

11．㉜オイルホールプラグの段付き側を、オイルフィルターアダプターのサーモユニット取り付け部に挿入し、サーモスタットホールキャップを取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１５Ｎ・ｍ（１.５ｋｇｆ・ｍ）

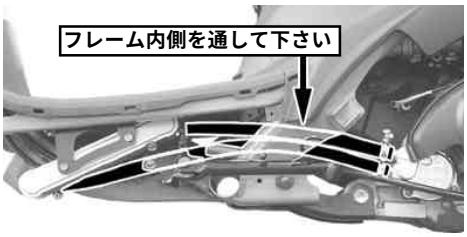
⚠警告
オイルホールプラグを取り付ける際は、必ずオイルクーラーを接続して下さい。
オイルホールプラグを取り付け、ストレートユニオンを塞いだ状態でエンジンを始動すると、エンジンオイルが循環することが出来ない為、エンジンが破損します。

12．クランクケース外側やオイルストレーナーキャップ周辺にこぼれ出たオイルを、パーツクリーナー等を用いて完全に洗浄しておきます。

⚠警告：オイルが残っていると、走行時にオイルがタイヤに付着するなどして、重大な事故につながる恐れがあります。

・オイルホースの取り付け

1．車両に合わせて㉓オイルホースを切断し、両端に㉔ホースバンドを通して、オイルクーラーユニットとオイルクーラーComp.を接続します。
（ホース長さをいきなり短く切断しすぎないように、現車に合わせて調整しながら切断して下さい。）



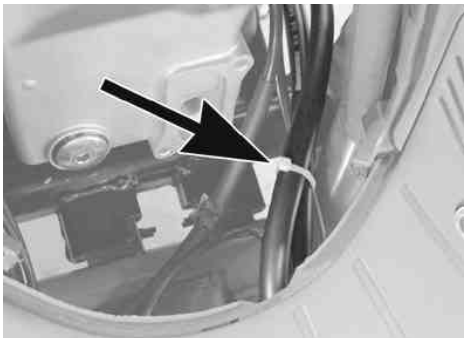
2．オイルホースの長さが決まりましたら、ホースバンドを４つ共締め付けます。

⚠注意：ホースバンドのクランプ部分が、車両ハーネスやオイルホース等に干渉しないように、位置を調整して下さい。

3．オイルクーラーに仮付けしていた㉑バンジョーボルトを、規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２２.５Ｎ・ｍ（２.３ｋｇｆ・ｍ）
⚠注意：締め付けは、オイルクーラーComp.のヘッダー部分（６角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で、バンジョーが回らない様に固定しながら締め付けて下さい。

4．㉕タイラップで、ホース同士を束ね、車体やエンジン等に干渉する事が無い様にホースの動きを規制します。
どうしても干渉してしまう場合は、別途スパイラルチューブ等をご用意頂き、干渉する部分のオイルホースを保護して下さい。



・インテークプレートの取り付け

1．別紙取り付けアドバイスを参照し、取り外してあるロアレッグシールドの左前方下部に、導風用の穴を開けます。

⚠注意：加工時は、適切な保護具や手袋を着用の上、十分注意して作業を行って下さい。

2．㉖インテークプレートをロアレッグシールドに沿うように曲げ、表側から㉗ボタンヘッドソケットスクリュー４Ｘ８を通し、ロアレッグシールド裏側から㉘フランジナットＭ４で固定します。

・組み付け

1．取り外した外装類を、元通り組み付けます。
2．エンジンオイルを、オイルクーラー容量分（８０ｃｃ）程度追加します。

・最終確認

1．必ず換気の良い場所で車両を水平に立て、エンジンを始動し、各部よりオイル漏れ等が無いか点検を行って下さい。

⚠警告：密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

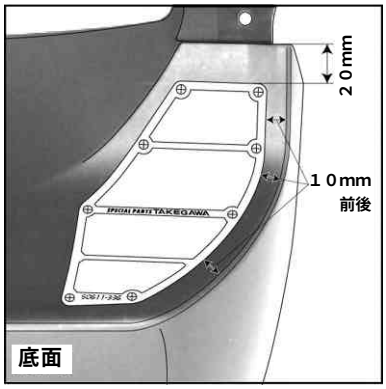
2．２～３分間アイドリング運転後エンジンを停止し、２～３分後にセンタースタンドを収納した状態（水平・垂直）でオイル量が適正かどうか点検し、必要に応じて、オイルを追加して下さい。
（オイル量点検時レベルゲージは、差し込むだけでねじ込みません。）
3．試運転をしてリアサスペンションを作動させて、ホースに無理がかかった形跡や、エンジン及びフレームとの干渉が無いか確認して下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ　０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ　http://www.takegawa.co.jp

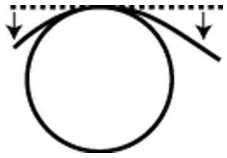
～インテークプレートの取り付けアドバイス～

○下記方法はあくまで参考です。失敗しないよう慎重に作業を行って下さい。

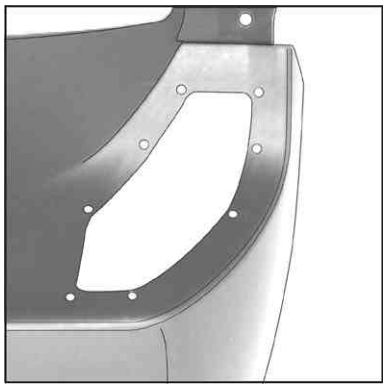
１．ボタンヘッドソケットスクリュー差込み穴の中心をマーキングします。
仕上がりに対して最も重要な作業です。特に慎重に行って下さい。型紙又はインテークプレートを、ロアレッグシールドの所定箇所にテープ等で仮止めし、スクリュー差込み穴の中心をペンや目打ちなどでマーキングします。



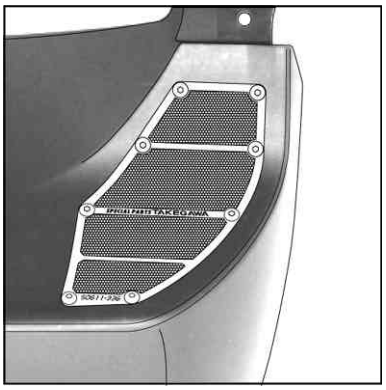
⚠注意：型紙を使用した場合、インテークプレートを実際に宛がい、穴の中心がずれていないかよく確認して下さい。
また、インテークプレートを曲げる時は、円柱状の物（太めの空き缶など）を利用し、滑らかに湾曲させて下さい。手で無理に曲げるとカウルに沿わなくなってしまいます。



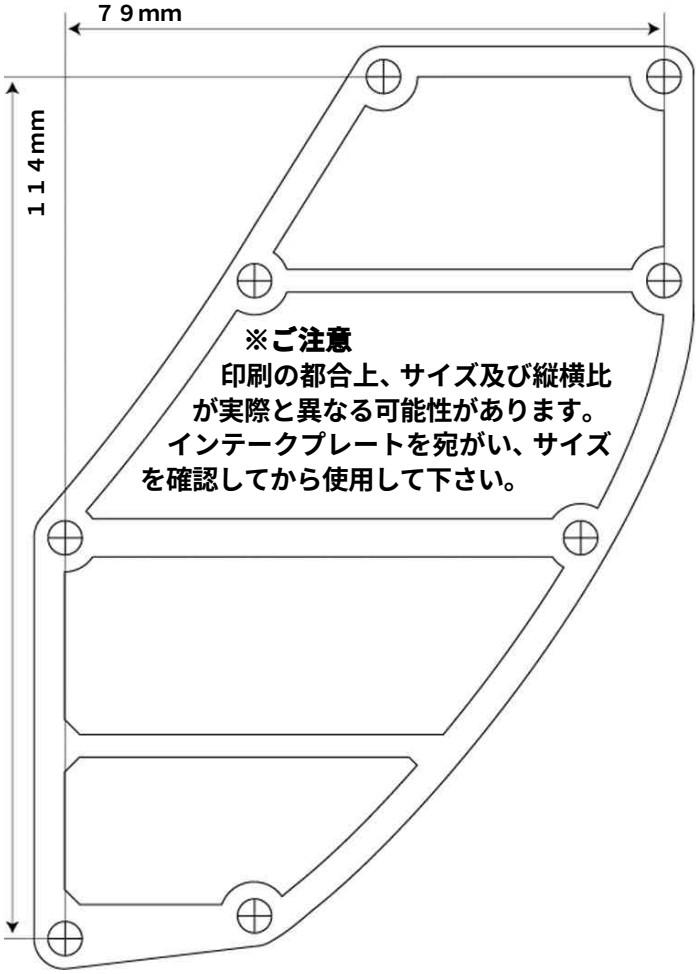
２．マーキングした８箇所に４mmの穴を開け、インテークプレート枠内に外気導入口を開けます。
下図の様な加工が困難な場合は、大き目の丸穴を沢山開けるなど、インテークプレート枠内に、出来るだけ導入口を設けて下さい。また、導入口はインテークプレートの影になりますので、加工が少々荒い場合でもあまり目立ちません。削り過ぎには十分注意しながら加工して下さい。



３．㉗ボタンヘッドソケットスクリュー４Ｘ８と㉘フランジナットＭ４で、インテークプレートを固定して完成です。フランジナットＭ４がカウル内側になります。



型紙



株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７ FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp